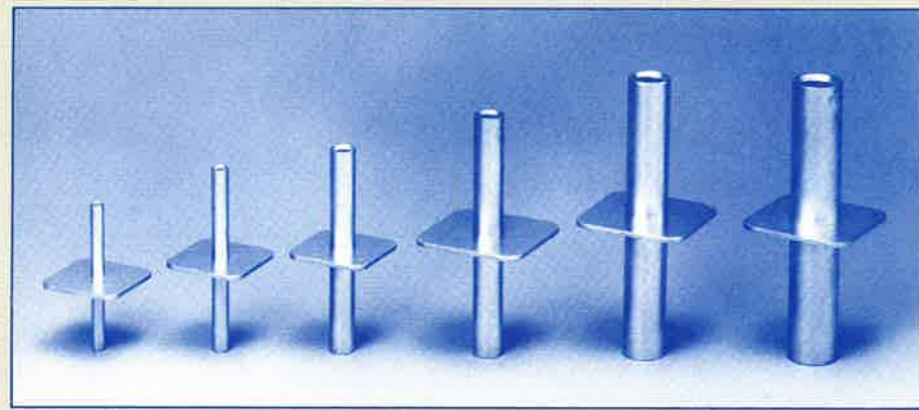
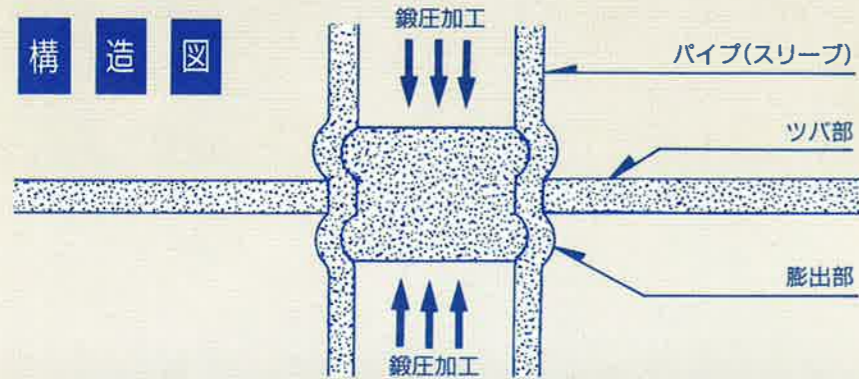


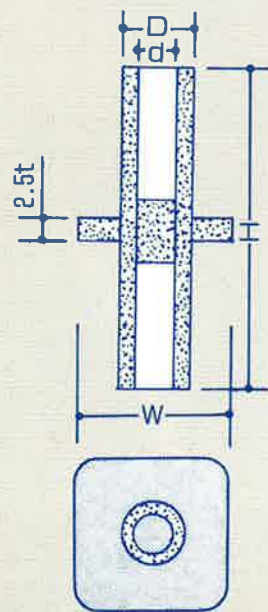
HO型水切スリーブ

- 上下スリーブ(パイプ部分)は一体構造となっています(構造図参照)。ロー付加工が不要なので、大巾なコストダウンに成功しました(PAT.P製法特許)。どなたにも安心してお使いいただけます。
- Jis A4201-1981及びその付属書と照合しても、まったく問題がなく、避雷設備の接地等に使用できます。
- サイズは、使用燃線に従って8°、14°、38°、60°、100°、150°が揃っています。
- 半田、ロー付による施工もできます。

構造図



8° 14° 38° 60° 100° 150°



HO型水切スリーブ外形寸法

仕様=純銅製/錫メッキ

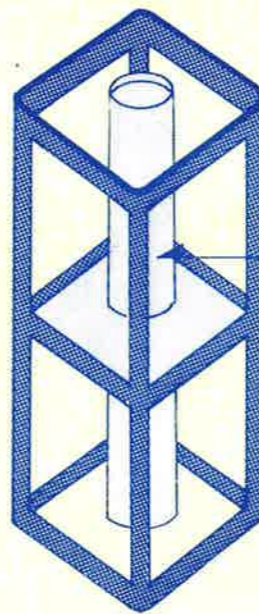
品番	H	W	D	d	重量(g)
HO-8	80	45	7.0	4.5	63
HO-14	100	45	9.0	6.0	75
HO-38	110	45	13.4	9.5	115
HO-60	130	60	15.5	11.5	180
HO-100	150	60	22.0	16.0	323
HO-150	150	60	26.0	19.0	420

地下からの浸透水を完全シャットアウト 建物の老朽化を防ぎます。

地下水は建築物の恐ろしい敵です。耐圧盤の下、地中梁の下など、ほんの少しのスキマからでもじわじわと浸透し、長い間には室内の設備まで破壊してしまいます。

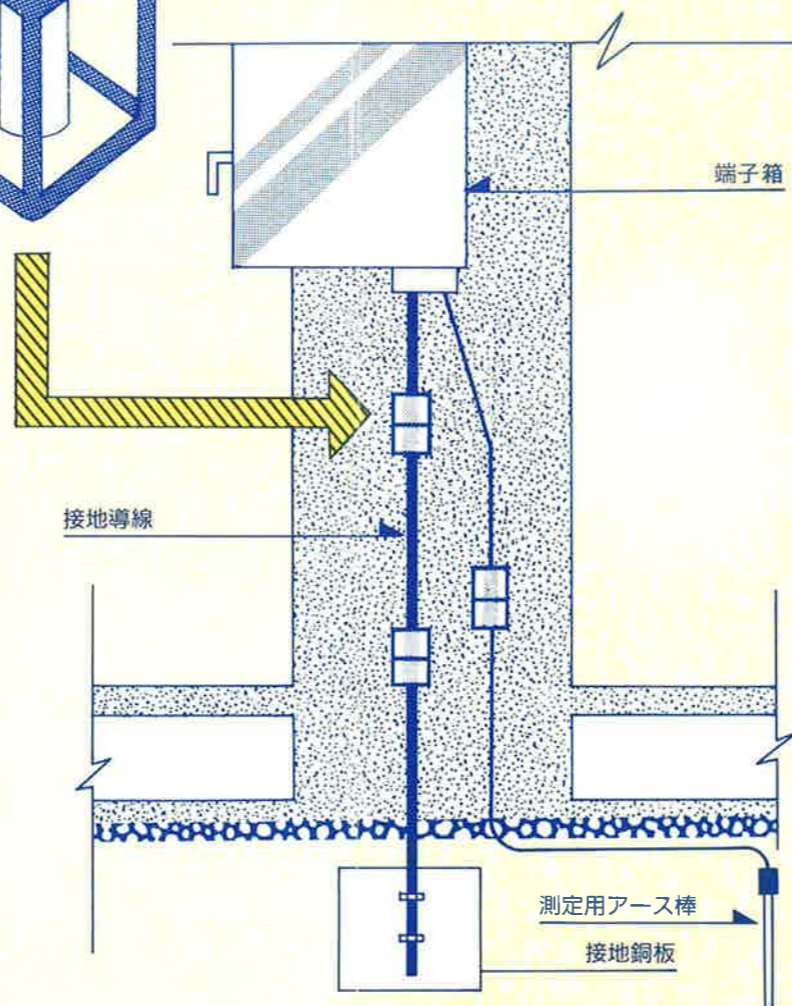
このHOシリーズ(HO型水切スリーブ及びHO型絶縁ケーシング)は、従来のもの比べて使用法が簡単な上、より確実に水切効果が得られる、これからの施工にはなくてはならない製品です。

また、下の施工例の図でわかるように、埋設電線1本につき2個((耐圧盤の中と地中梁の中)使用することで、さらに効果が上がります。



HO型絶縁ケーシング
HO型水切スリーブ

施工例



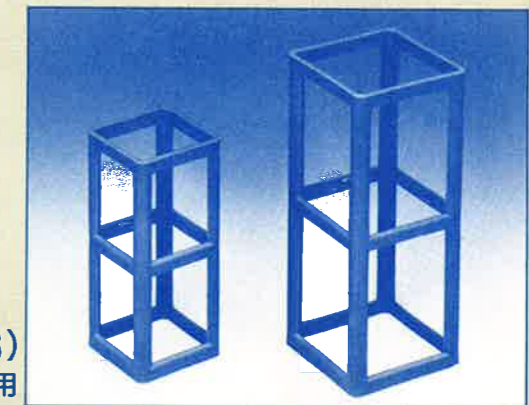
HO型絶縁ケーシング

●水切スリーブの絶縁に際しては、これまでビニールテーピングや密着型カバーの使用が一般的な方法でした。しかし、どちらも結果的には新しい水みちを作ってしまったたり、ツバ部分がはがれて鉄部に接触したりという欠点を持っていました。

このHO型絶縁ケーシングは、そんな問題をいっしょに解決、しかもコンパクトなスタイルなのでワンタッチで施工できるという、たいへんうれしい新製品です。

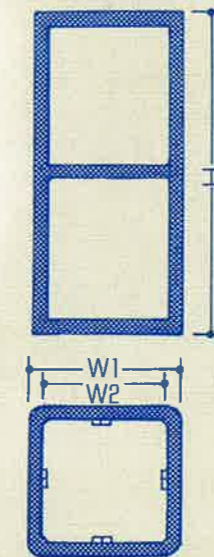
●コンクリート内部で鉄部に接する心配は全くありませんから、施工時、単独の接地体としての測定値が正確に得られます。

●8°、14°、38°の水切スリーブに共用できる(S)と、60°、100°、150°用の(L)の2サイズが揃っています。数種類の燃線を同時に併用する場合でも融通がきくので、たいへん使いやすく便利です。



(S)
8° 14° 38° 用

(L)
60° 100° 150° 用



HO型絶縁ケーシング外形寸法

仕様=ポリプロピレン製/射出一体成型 色=グリーン

品番	H	W1	W2	重量(g)
HO-(L)	154	65	60.4	28.5
HO-(S)	115	50	45.4	17.5